

平成28年度 学年 [高校1年] 教科 [保健]

教科・分野	週時間数	コース	クラス	担当者
保健	1	文理	ABCD	中村
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・個人及び社会生活における健康・安全についての理解を深める。 ・生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。 			
大切に育てたいもの	関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解	
	健康・安全について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとする姿勢。	健康・安全に関する諸問題について、総合的に考え、判断し、表す力。	健康・安全に関する諸問題について、それらの解決に役立つ基礎的な知識の理解。	
学期	考査	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	
一学期	期末	<ul style="list-style-type: none"> ○私たちの健康のすがた ○健康のとらえ方 ○健康と意思決定・行動選択 ○健康に関する環境づくり ○生活習慣病とその予防 ○食事と健康 ○運動と健康 ○休養・睡眠と健康 	<ul style="list-style-type: none"> ○我が国の健康水準の向上と疾病構造の変化と、様々な健康の考え方を理解できるようにする。 ○健康を保持増進するための意思決定や行動選択について理解し、ヘルスプロモーションに基づいた環境づくりの重要性を理解できるようにする。 ○生活習慣病を予防し、健康を保持増進するためには、適切な食事、運動、休養及び睡眠など健康的な生活習慣を実践することが必要であることを理解できるようにする。 	
二学期	期末	<ul style="list-style-type: none"> ○喫煙と健康 ○飲酒と健康 ○薬物乱用と健康 ○現代の感染症 ○感染症の予防 ○性感染症・エイズとその予防 ○欲求と適応規制 ○心身相関とストレス ○ストレスへの対処 ○心の健康と自己実現 	<ul style="list-style-type: none"> ○喫煙、飲酒や薬物乱用の健康や社会への影響について理解する。また、それらの防止について、社会での対策を含め理解できるようにする。 ○感染症や性感染症の発生や流行について理解し、これらの予防には、正しい情報の発信、予防接種の普及など社会的対策と共に、個人の取り組みが必要であることを理解できるようにする。 ○精神機能は、大脳によって統一的・調和的に営まれていることを理解し、欲求や適応機制の働きについて理解できるようにする。 ○人間の精神と身体は密接な関係を持っていることを理解し、過度のストレスが心身に影響することを理解できるようにする。また、適度なストレスの必要性や、ストレスへの対処法を見つけることの重要性についても理解できるようにする。 ○自己実現の欲求と精神の健康との関係を理解する。 	
三学期	期末	<ul style="list-style-type: none"> ○交通事故の現状と要因 ○交通社会における運転者の資質と責任 ○安全な交通社会づくり ○応急手当の意義とその基本 ○心配蘇生法 ○日常的な応急手当 	<ul style="list-style-type: none"> ○交通事故の現状と、その防止について社会環境などの対策を含め理解できるようにする。 ○応急手当の意義を理解し、自ら進んで行う態度を身に付けられるようにする。 ○心肺蘇生法やAEDの使用、また日常起こる障害などへの対処法を理解できるようにする。 	
評価の方法	定期考査、日常の学習意欲や態度			
学習活動の特徴	主として講義形式とグループによる学習活動			
授業の形態	クラス単位での授業			
使用教科書	現代高等保健体育（大修館書店）			
使用副教材	なし			
用意するもの	ノート			
備考				